

【鹿児島県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
曾於市、志布志市	曾於東部	「かんしょ」の安定生産と新規就農への支援	1	H28.06	1
喜界町	喜界	「白ごま」の導入と6次産業化の推進	2	H28.06	1
西之表市	現和	「ばれいしょ」からより収益性の高い「安納芋」等へ営農転換	3	H28.12	2
志布志市、大崎町	曾於南部・第四曾於南部	基盤整備とともに地域で成長する農業法人	4	H30.03	4
いちき串木野市	川南	法人経営による水田高度利用と次世代の担い手育成	5	R3.03	7
出水郡長島町	浜漣仁田原	農地の集積・集約化による営農作業の効率化	6	R4.03	8
奄美市	KAM奄美北部、笠利東部	堆肥センター整備による未利用資源の循環とさとうきび単収向上	7	R6.03	10
長島町	伊唐島	農地開発の実施による経営規模拡大と架橋による流通経路の確保	8	R7.03	11

【工夫のポイント】

- 農業用水の確保により、茶の品質向上、キャベツ・ピーマン等の露地野菜栽培が進展。
- 露地野菜の生産の拡大に併せ、**県・市・農協等が連携**して、新規就農者に対する**技術指導、研修等**を行い、地域の**担い手を確保**。
- 地元焼酎メーカーとの**契約栽培**を行うことで、「かんしょ」の**安定した販売を確保**。

【取組地域の概要】

- 位置
鹿児島県曾於市、志布志市（過疎等）



- 傾斜
・約1/20～約1/7
- 主要作物
・かんしょ、茶、キャベツ、ピーマン 等
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業（S59～H21）
・県営畑地帯総合整備事業（S60～H24）
・県営特殊農地保全整備事業（S60～H13）
・多面的機能支払交付金（H19～）

基盤

畑地かんがいの整備を通じた用水供給による高収益作物の導入と労力の軽減

用水の安定的な供給によって、**露地野菜の栽培が盛ん**になったほか、スプリンクラー等によるかん水や、防霜散水によって**労力の大幅な軽減**が図られた。



区画整理されたほ場



茶の防霜散水

基盤整備
（S59年～H21年）

【整備前】

保水性の乏しい火山灰土壤に覆われた畑作地帯であることから、大部分は**天水に依存**する営農を余儀なくされており、不安定な生産であるとともに、農業生産性の向上が阻害されていた。



整備前の様子
（雨水を溜めるなどの対応）

生産現場

効率的な散水器具の活用による労力の軽減



- **ロールカー（自走式スプリンクラー）**等の導入にも力を入れ、更なる労力の軽減に努めている。

加工・流通

地元メーカーとの契約栽培による販売量確保



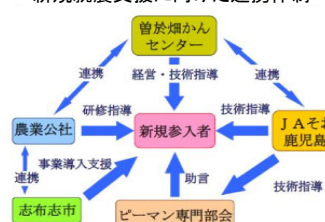
- 地元の**大手焼酎メーカーとの契約栽培**によって、「加工用かんしょ」の安定した販売量を確保している。

担い手

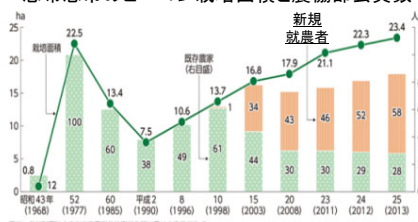
新規就農支援を通じた担い手の確保・育成

- **地域の農業者や行政などの関係機関が連携し、新規就農支援による担い手確保**や法人経営体育成を推進。

新規就農支援に向けた連携体制



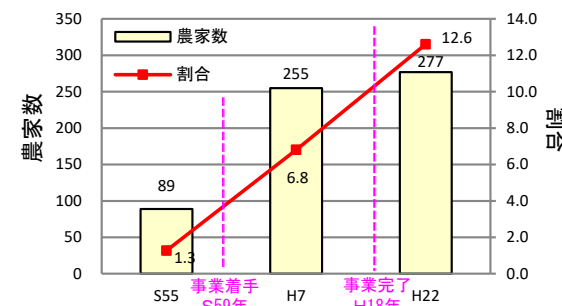
志布志市のピーマン栽培面積と農協会員数



高収益作物の導入や契約栽培による販売量確保等により、販売額が1千万円以上の農家数が増加

- 基盤の整備をきっかけに、露地野菜の生産が盛んになったほか、地域の関係者間の連携による**新規就農者の確保**を通じた**産地の維持**や、**地元メーカーとの契約栽培**を通じた地域の農業生産の活性化に取り組む。

事業実施地区における販売額が1千万円以上の農家数とその地区内農家数に占める割合



注「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。

【出典：農林業センサス】

【工夫のポイント】

- 地下ダムの建設により、新たに**農業用水が確保**されたことを契機に、「**ごま**」や「**トマト**」等の**園芸作物を導入**。白ゴマの生産量は全国一を誇る。
- **白ごまを使い**、「ごまドレッシング」、「ねりごま」、「ごましゃぶダレ」等の**商品開発**を行い、喜界島の特産品として製造・販売。

基盤

畑地かんがいの整備による労力の軽減と高収益作物の導入

受益面積の100%でスプリンクラー等の畑地かんがい施設が整備され、かん水労力軽減、収量安定、品質向上、高収益作物導入等を実現。



畑かん用水による労力節減



施設園芸の導入

基盤整備
(H4年～H15年)

【整備前】

台風の上陸が多いうえ、岩盤が石灰岩のため河川がなく、台風・干ばつに強いサウキビを基幹作物としていたが、**恒常的な水不足**による不安定な農業経営を余儀なくされてきた。



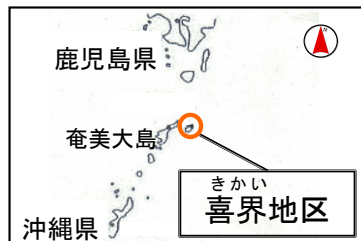
給水スタンドでの水汲み



サウキビの干ばつ状況

【取組地域の概要】

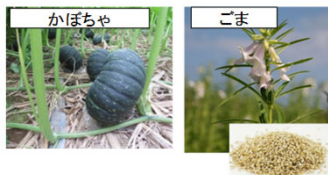
- 位置
きかいちょう
鹿児島県喜界町（過疎等）



- 主要作物
・サウキビ、ごま、トマト等
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(H4～H15)
・県営畑地帯総合整備事業(H8～H22)
・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(H27～H29)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・奄美群島振興交付金(H26～H30)
・甘味資源作物安定生産体制緊急確立事業(H25～H26)

生産現場

高収益作物の導入から一大産地へ成長



- 園芸作物の導入が進み、**白ごまに関しては、日本一の生産量**を誇る産地へ成長。

加工・流通

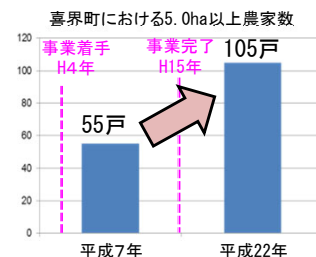
女性の力を活かした6次産業化の推進



- 地域の**女性グループが中心**となり、園芸作物を使った加工品の開発・生産・販売に取り組む。

担い手

農地の利用集積による大規模経営農家の増加



- 整備を契機とした農地の集積により、**経営規模5ha以上の大規模農家が増加**。地域の農業の担い手確保・育成にも貢献。

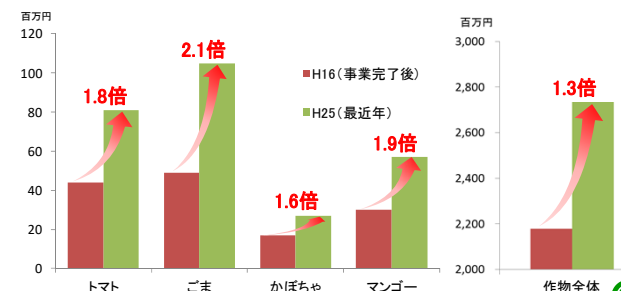
【出典：農業センサス、喜界町聞き取り】

用水の安定供給を通じた高収益作物の導入等による農業産出額の増加

- 事業を契機として高収益作物の産出額が向上しており、**喜界町全体の産出額向上を実現**。また、6次産業化の推進など地域の活性化にも貢献。



喜界町における農業産出額の推移



【出典：「奄美群島の概況」、喜界町調べ】

「ばれいしょ」からより収益性の高い「安納芋」等へ営農転換【鹿児島県西之表市】

にしのおもてし

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

販売

【工夫のポイント】

- 農家のニーズに応じて段階的に基盤整備を実施（ほ場整備、ダム・畑地かんがい施設整備）。
- JAが主体となって営農指導等を実施し、より収益性の高い園芸作物へ転換を促進。
- 安定した集荷体制の確保と販売先ルートの確立により、安定的な販売体系を構築。

基盤整備により安定的で効率的な営農を実現

区画整理やダム・畑地かんがい施設整備等の整備による用水の安定供給により、営農作業の機械化や高収益な園芸作物の導入が可能となった。



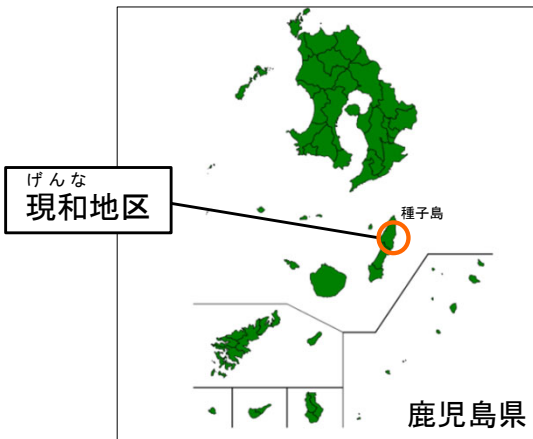
基盤整備
(S46年～H10年)

【整備前】

ほ場整備が不整形であり、大型機械の導入が困難であった。また、農道は狭小であり、農業資材の搬入や農作物の搬出に苦慮していた。
また、畑地かんがい施設が未整備であったため、天候に左右される営農であった。

【取組地域の概要】

- 位置 にしのおもてし
鹿児島県西之表市（離島等）



- 主要作物
青果用かんしょ、スナップエンドウ、ばれいしょ
- 主な支援施策
・県営ほ場整備事業(S46～53)
・県営畑地帯総合整備事業(S54～H10)
ほか

JA・園芸振興協議会を中心とした営農指導



- JAが主体となって、営農指導等を実施。ばれいしょ主体の営農から、収益性の高い青果用かんしょ（安納芋）やスナップエンドウ等の園芸作物への転換が拡大。

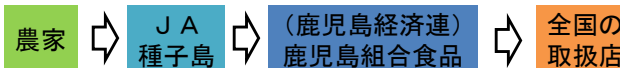
（営農指導の内容）

- ・栽培基準・防除基準の作成と栽培技術指導
- ・土づくり指導（柔らかい土壌の確保）
- ・園芸作物に適した有機質の投入量指導
- ・一定基準を定めた肥料等の投入量指導 等

生産現場

安定した販売体系の確保

- 安定した集荷体制を確保するためJAが一時保冷庫を整備。
- 販売先ルートを確立させ、安定的な販売を実施。



加工・流通

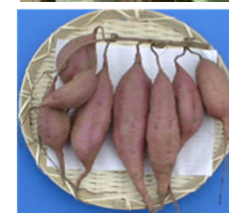
市場で人気の高い「安納芋」を中心に園芸作物の販売額が増加

- 現和集落では、安納芋など、収益性の高い園芸作物の作付けが拡大し、畑地かんがい施設への通水開始(H10)後、園芸作物販売額が約1.7倍に拡大。

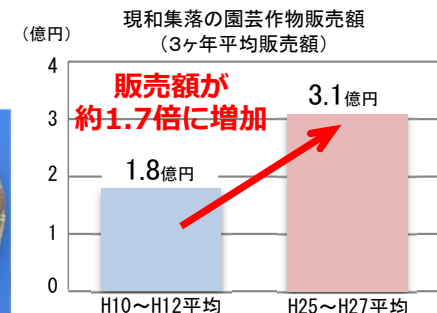
現和集落における
安納芋の販売額の変化

	H17年度	H27年度
販売額	970万円	1億7,200万円
園芸作物販売額全体に占める割合	5%	6.4%

10年前に比べて増大



安納芋（安納紅）



【出典：西之表市園芸振興会資料】

【工夫のポイント】

- 〇 畑地かんがい施設の整備により計画的な作付・出荷が可能となり、**九州をはじめ関西・関東地域にも販路を拡大**。
- 〇 農作業マニュアルの作成、G-GAP手法を用いた生産工程管理やSNSを活用した作業時間管理の徹底など**農業経営の「見える化」を実践**。
- 〇 やる気のある人材を積極的に受け入れ、**地域の雇用を拡大**。

【取組地域の概要】

- 〇位置
し ぶ し し おおさきちよう
鹿児島県志布志市・大崎町

(国営かんがい排水)

そおなんぶ
曾於南部地区

(県営畑地帯総合整備)

だいよんそおなんぶ
第四曾於南部地区



- 〇主要作物
・葉ねぎ、大根、キャベツ

- 〇主な支援施策
・国営かんがい排水事業(H元~H20)
・県営畑地帯総合整備事業(H12~)
・産地パワーアップ事業(H28~)

基盤

安定的な用水確保による計画的な作付けによって担い手農家の経営規模が拡大

- 〇 水源(輝北ダム)の確保及び畑地かんがい施設の整備によって、安定的な用水確保の下での計画的な作付けが可能となり、**経営規模の拡大が促進**。
- 〇 基盤整備を契機に、自治体やJAの連携により、「**畑地かんがい営農ビジョン**」を策定し、受益農家と関係機関が一体となって営農を推進。



基盤整備
(H元年~)

【整備前】

取水量が不安定な地下水を水源とした営農であったため、かん水量が制限されており、地域農業の発展に向けては、安定的なかんがい用水確保が求められていた。

- ・整備前は、地下水を小規模なタンクやため池に貯水し、ポンプから配水していた。



生産現場

営農作業の省力化を通じた経営の効率化

- 〇 自走式散水器具(スマートレイン)の導入により、**かん水作業の省力化**を図るほか、SNSを活用した時間管理の徹底など、**経営の「見える化」を実践**。



加工・流通

計画的な出荷による販路拡大と6次産業化

- 〇 出荷責任者を配置して専属で市場開拓に取り組み、九州のみならず**関西や関東にも販路を拡大**。
- 〇 新たな高収益作物として**導入が進む大根の加工センターを新たに増設**するなど、6次産業化にも積極的に取り組む。



担い手

担い手法人による新規就農支援と雇用拡大

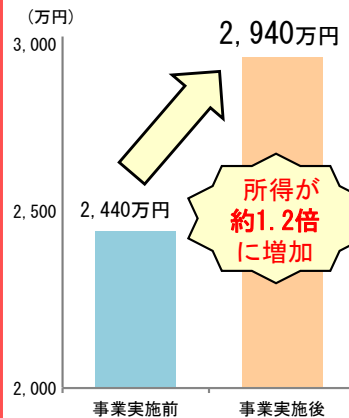
- 〇 農業大学生の研修受入れや卒業後の雇用等により**新規就農者を支援**
- 〇 規模拡大とともに雇用者数も拡大(**常時雇用14名(H14)→35名(H28)**)



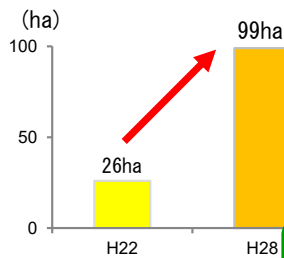
経営規模の拡大と6次産業化による法人の農業所得額の増加

- 〇 事業完了による通水を契機に、農業法人の経営規模が急拡大し所得額も向上。現在建設中の大根の選果場と加工品のライン導入等により、**益々の所得額向上も期待され、地域の農業をリード**している。

【農業法人の所得額推移】



【農業法人の作付面積推移】



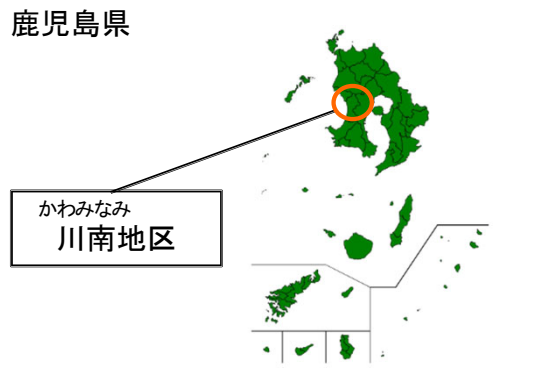
【出典：大崎町役場調べ】

【工夫のポイント】

- ほ場整備の実施を契機に、**農事組合法人を設立**。(R元)
- 米の生産のほか、**高収益作物**を導入するなど、**経営を多角化**。
- **1ターンの若い世代の担い手農家**が新規就農。
- **女性農業経営士**による修学旅行受入れなど、**農業への理解促進活動も実施**。

【取組地域の概要】

- 位置 くしきのし
鹿児島県いちき串木野市(過疎、特農、特土)



- 主要作物
・水稲、WCS、麴用米、レタス、たまねぎ いちご 等
- 主な支援施策
・県営農地整備事業(経営体育成型)
(H25～R4)
・多面的機能支払交付金(H20～)

水田高度利用の取組を開始

基盤整備により大型機械の導入等が可能となり、水田高度利用による**高収益作物導入**と、多様な作物栽培による**経営の多角化**。



共同利用の
ブームスプレーヤ



整備後(60a区画)

基盤整備 (H25年～R4年)

【整備前】

ほ場区画は**5a～10aと狭小**で、**排水不良田**も点在しているため、**大型機械の導入や集落営農等、新たな営農形態への転換に支障**。



整備前(5～10a区画)



排水不良田

集落営農組織による高収益作物の生産

- **農事組合法人(夢ファーム大里^{うざと})**を設立し、主食用米、多用途米(WCS、麴用米等)の生産の他、野菜の生産者とも連携し、ハローワークを通じて人手確保を行いながら**レタス、たまねぎ等の生産**を実施。



レタスの栽培



たまねぎの栽培

生産現場

女性の活躍と次世代の育成

- **農業委員**や**女性農業経営士**として活躍しているY.Kさんは、基盤整備による作業効率向上で**生み出した時間を活用**し、地区内でいちご経営(約0.4ha)を行いつつ、自身が経営する農園に**中高生の修学旅行を受け入れる**(年平均約20名)など、**将来を担う子供達の農業への理解促進**にも取り組んでいる。



Y.K.さん

『農業の厳しさ・楽しさ、食の安心・安全を伝えたい。』

地域の取組

法人売上の確保

- **高収益作物(レタス)**を中心とした**契約栽培**を行い、農事組合法人の売り上げを確保。

法人の売上

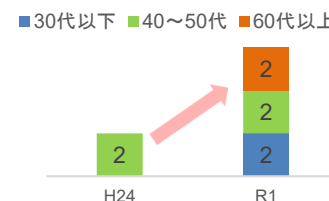
約2,400万円



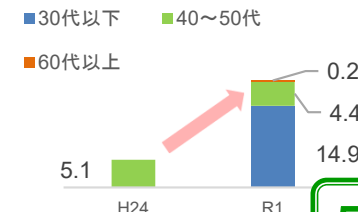
若い世代の担い手育成

- 基盤整備により水田でのレタス栽培が可能となったことを契機として、**1ターナー1名(30代)が起業**。**地域の雇用を創出**。(社員3名、臨時雇用4名)
- 農事組合法人を中心に農地集積による農地利用の効率化及び高度化等に取り組み、**若い世代の担い手農家の参入**を促進。

担い手農家戸数(戸)



担い手経営面積(ha)



【対策のポイント】

- 基盤整備を契機として、認定農業者などへの農地集積・集約化を促進。
- 営農条件の改善により、農業生産性の向上と品質が向上し、収益性の高い農業経営の実現を推進。
- 現場発生材を再利用した石積法面により草刈りなどの維持管理低減と個性的なふるさと景観を創出。
- 鳥獣防護柵を併せた基盤整備

【取組地域の概要】

- 位置 いずみぐんながしま
鹿児島県出水郡長島町



- 事業名
畑地帯総合整備事業(H29～R4(予定))
- 受益面積
14.6ha
- 主要工事
区画整理 12.0ha 農道 0.9km
- 主要作物
バレイショ さつまいも(青果用)

大区画化による営農作業の効率化

- 耕作放棄地がなく、土地利用率は150%を超えていたが、不均一なほ場、狭い農道、排水の未整備等により、効率的な農作業に支障が発生。



基盤整備

(H29～R4)

- 区画整理により、区画拡大とともに集約化を図り、また、段々畑であったが故の陽当たりの悪さが解消されたことで、農業生産性の向上と品質向上を実現。



農地の集積・集約化に向けて

- 事業を契機として、人・農地プランの実質化及び多面的機能支払い交付金の取組に向けた話し合い活動を実施。



獣害(イノシシ)対策

- 電気柵を個人管理→金網柵を共同管理

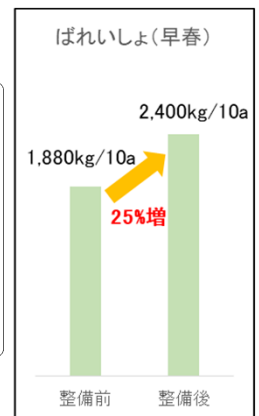
環境対策

- ほ場内グリーンベルトで土砂流出対策

基盤整備と地域の取組が一体となった収益力の向上
＜バレイショの生産＞

- 営農作業の省力化により、営農コストは50%程度まで低減。また、陽当たりがよくなる等、営農条件の改善による品質向上により、単位当たり収量も1.25倍に増加。

<単位当たり収量>



※出典：農家への聞き取り

<生産コスト>

- 畝立て作業期間 **◀50%程度削減**
＜農家Aさんの場合＞
1.4ha(20数ヶ所)の農地を1.1ha(5ヶ所)に集約
所要2週間の作業が1週間で可能に
- ほ場から集荷場までの運搬 **◀50%程度削減**
整備前 <ほ場内>キャリア <一次>軽トラ
整備後 <ほ場内・一次>軽トラ

対策の効果

【工夫のポイント】

- 整備した堆肥センターでは、地域の未利用資源を有効活用して、堆肥を生産。
- 土層改良事業では、生産した堆肥も活用。地域資源の活用の場合となるとともに、土壌条件を改善することで、さとうきびの単収を向上。
- 堆肥センターを中心に、地域内の資源を循環し、持続可能な農業の実現に寄与。

【取組地域の概要】

○位置
あまみし
鹿児島県奄美市

鹿児島県

かむ あまみほくぶ
KAM奄美北部地区

かさりとうぶ
笠利東部地区



- 主要作物
 - ・さとうきび、飼料、マンゴー、パッションフルーツなど
- 主な支援施策
 - ・県営畑地帯総合整備 (S49～S60)
 - ・県営かんがい排水事業 (S61～H18)
 - ・県営中山間地域総合整備事業 (H10～H18)
 - ・畑地帯総合整備事業 (H25～)※土層改良

中山間地域総合整備事業で堆肥センターを整備

- KAM(かごしま・アグリ・ミュージアム)奄美北部地区において、堆肥センターを整備。
- 家畜排せつ物や製糖工場で発生するさとうきび残さ等、産業廃棄物となる地域内の未利用資源を有効活用した堆肥を生産。



家畜排せつ物等を活用した堆肥



さとうきびの残さ

基盤整備

堆肥センター整備
H12年～H18年

【整備前】

区画整理や水源確保、畑地かんがい施設の整備によって、地域内の整備水準は向上。一方、奄美地域は特有の重粘土壌を持ち、高温多雨であることから地力の消耗が大きく、更なる生産性向上には土づくりが必要。



地力が低下し、土づくりが必要なほ場

土層改良事業による土壌条件の改善

- 土層改良のため、硬化した作土の心土破碎や地力向上のための堆肥投入を行い、土壌条件を改善。



ほ場への堆肥散布



堆肥投入による土づくり

生産現場

未利用資源の活用に向けた新たな取組

- 未利用資源の更なる有効活用と飼料自給率の向上のため、さとうきびの収穫後、ほ場に落ちたハカマ等(収穫残さ)の粗飼料としての活用を検討中。



ハカマロール

地域の取組

未利用資源の循環により持続可能な農業に寄与

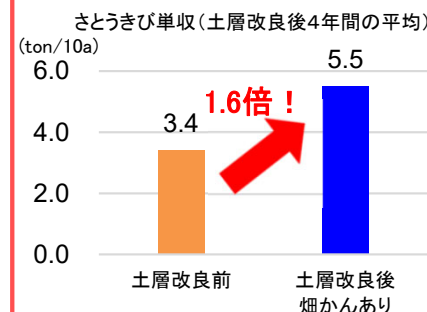
- 収穫されたさとうきびは、製糖工場に出荷し、残さは、新たな資源として堆肥の原料に活用。地域内で資源が循環し、持続可能な農業の実現や環境負荷の低減に寄与。



写真提供：富国製糖(株)

土壌条件の改善等により単収増

- 土壌条件の改善と畑かんの水利用効果により、さとうきびの単位当たり収量が1.6倍に増加。



土層改良実施後のほ場

出典：あまみ農業協同組合大島事業本部笠利支所及び県大島支庁調べ

農地開発の実施による経営規模拡大と架橋による流通経路の確保

ながしまちょう
【鹿児島県長島町】

省力化・スマ農
国土強靱化
保全管理
グリーン

【工夫のポイント】

- 農地開発による農業者の大規模経営への転換。
- 伊唐大橋建設による農産物流通経路の確保。
- 伊唐島への唯一の陸上交通経路である伊唐大橋の長寿命化。
- 大規模経営化や作物のブランド化、流通経路の確保等により生産量及び農家所得が向上。

【取組地域の概要】

- 位置 いずみぐんながしまちょう
鹿児島県出水郡長島町



- 主要作物
ばれいしょ、甘しょ 等
- 主な支援施策
 - ・ 県営農地開発事業 (S61～H9)
 - ・ 農免農道整備事業 (S63～H8)
 - ・ 農道保全対策事業 (H21～H24)
 - ・ 農村地域防災減災事業 (H27～R4)
 - ・ 農地整備事業(通作・保全)(R4～R9)

農地開発による農業経営規模拡大と架橋による流通経路の確保

- 県営事業を活用して、農地造成(81.0ha)、畑地かんがい施設整備(57.2ha)及び農道整備(橋梁675m)を実施。
- フェリーに頼っていた流通経路が、伊唐大橋の開通により、終日出荷及び時間短縮が図られ、経費が大幅に削減。



基盤整備
(S61年～H9年)

【整備前】

生産基盤整備の遅れ、人口流出による高齡化、地理的、社会的な悪条件が重なり、農業生産性は極めて低い状況。



将来を見据えた長寿命化対策

- 伊唐大橋は、建設から一定期間が経過したことにより施設の劣化、損傷が発生していたため、平成21年度から橋梁補修工事を実施。
- 農業用施設は、担い手農家の経営規模拡大を見据えた再編や更新事業を実施。
- 引き続き、施設の長寿命化のため、定期的な機能診断を基に補修工事を適切に実施し、戦略的な保全管理を推進。

施設管理

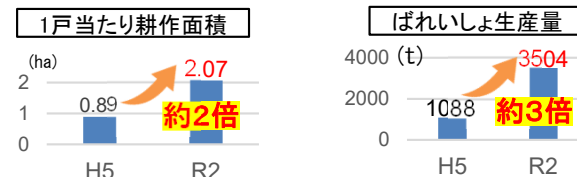
ブランド化による高収益農業の実現

- 平成9年に「長島地区赤土ばれいしょ」としてかごしまブランド産地に指定され、鹿児島農林水産物認証も取得。



経営規模拡大による生産量の増加

- 耕地面積の増加や畑地かんがい整備、生産流通の利便性向上により、農業経営規模が拡大し、その結果、ばれいしょの生産量が整備前の約3倍に増加。



農家所得の大幅な増加

- 生産量の増加やブランド化により、1戸当たりの農家所得は、整備前の約10倍になり、令和2年には農業収入が2千万円を超える農家が誕生。

